

様式第 1 （第 3 条関係）

※受理年月日	年 月 日
※受 理 番 号	
※備 考	

大規模小売店舗届出書

令和 7 年 1 0 月 2 0 日

栃木県知事 様

名 称 株式会社コメリ
代表者氏名 代表取締役 捧 雄一郎
住 所 新潟県新潟市南区清水 4 5 0 1 番地 1

大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 大規模小売店舗の名称及び所在地
名 称 コメリハード&グリーンさくら店
所在地 栃木県さくら市櫻野字沢田 6 1 0 番 外
- 2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては
代表者の氏名

小売業者名及び代表者名	住 所	主な販売品目	開店時刻	閉店時刻
株式会社コメリ 代表取締役 捧 雄一郎	新潟県新潟市南区 清水 4 5 0 1 番地 1	住・生活 関連用品	午前 7 時	午後 9 時

- 3 大規模小売店舗の新設をする日
令和 8 年 6 月 2 1 日
- 4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計
4, 7 2 0 m²

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

位 置	収容台数
全体配置図（建物配置図）（p16）のとおり	1 4 6 台

※従業員用等は別途 2 4 台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

位 置	収容台数
全体配置図（建物配置図）（p16）のとおり	8 台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

位 置	面 積
全体配置図（建物配置図）（p16）のとおり	5 2 m ²

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位 置	容 量
全体配置図（建物配置図）（p16）のとおり	2 0 m ³

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

開店時刻	閉店時刻
午前 7 時	午後 9 時

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

午前 6 時 3 0 分から午後 9 時 3 0 分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

出入口の数	位 置
来客用出入口 3 か所	全体配置図（建物配置図）（p16）のとおり
荷さばき用出入口 (兼用)	
合計 3 か所	

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

午前 6 時から午後 1 0 時まで

添付書類（目次）

1 店舗の概要に関する書類

- (1) 届出概要等
 - ① 届出概要（Ⅰ 届出の概要）…………… 1
 - ② 大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項（Ⅱ 指針に定める大規模小売店舗の施設の配置及び運営方法に関する配慮事項への対応状況）…………… 2～12
 - ③ 店舗位置図…………… 13
 - ④ 都市計画図の写し…………… 14
 - ⑤ 周辺見取図…………… 15
 - ⑥ 全体配置図（建物配置図）…………… 16
 - ⑦ 内部配置図（1階平面図）…………… 17
 - ⑧ 立面図…………… 18
 - ⑨ 面積表…………… 19
- (2) 求積図…………… 20
- (3) 求積表…………… 20
- (4) 荷さばき施設の位置及び求積図並びに求積表…………… 21
- (5) 廃棄物等保管施設の位置及び求積図並びに求積表…………… 21
- (6) 出店予定地及び周辺の写真…………… 22

2 交通関係

- (1) 駐車場の位置図及び構造図…………… 16
- (2) 店舗までの案内経路図…………… 23
- (3) 店舗敷地内及び駐車場周辺通行経路図…………… 16
- (4) 方面別来台数算出根拠…………… 24
- (5) 方面別来台数予測図…………… 23, 25
- (6) 現状交通量調査結果（交通量調査報告書）……………（別添1）
- (7) 交通計画資料（交通検討書）……………（別添2）
- (8) 駐輪場の位置図及び構造図…………… 16

3 騒音関係

- (1) 騒音予測・対策に関する図面…………… 26
- (2) 遮音壁等防音減音設備等詳細図…………… —
- (3) 騒音予測結果…………… 8
- (4) 騒音予測調査資料（騒音予測検討書）……………（別添3）

4 その他

- (1) 関係機関との協議結果…………… 27～31
- (2) 登記事項証明書（現在事項証明書）……………（別添4）

届 出 概 要 (新 設)

I 届出の概要

1 届出者等

届出者	名称・代表者	株式会社コメリ 代表取締役 捧 雄一郎
	住所	新潟県新潟市南区清水4501番地1
届出区分		新設（法第5条第1項）
届出日		令和7年10月20日
新設日		令和8年6月21日
店舗名称		コメリハード&グリーンさくら店
店舗所在地		栃木県さくら市櫻野字沢田610番 外
小売業者の名称及び住所		株式会社コメリ 新潟県新潟市南区清水4501番地1

2 届出事項の概要

届出事項		内容
店舗面積合計		4,720 m ²
施設配置	駐車台数	146台（別途従業員用等24台）
	駐輪台数	8台
	荷さばき施設面積	52 m ²
	廃棄物等保管施設容量	20 m ³
運営方法	開店時刻	午前7時
	閉店時刻	午後9時
	来客駐車場利用可能時間帯	午前6時30分～午後9時30分
	駐車場出入口数	3か所（うち荷さばき兼用2か所）
	荷さばき可能時間帯	午前6時～午後10時

（※位置は p16 のとおり）

3 出店地・建物の概要

出店地の状況	用途地域	非線引き区域 無指定地域
	敷地面積	14,048 m ²
	所有形態	借地
建物の状況	店舗業態	住・生活関連用品店（ホームセンター）
	延床面積	4,629 m ²
	併設施設の面積	0 m ²
	併設施設面積の 店舗面積に対する割合	0 %

Ⅱ 指針に定める配慮事項及び地域貢献への対応状況

1 駐車需要の充足等交通に係る事項

(1) 駐車場の必要台数の確保

届出駐車台数 146台 [別途 従業員用等24台]

必要駐車台数 146台

①小売店舗の必要駐車台数

◇指針による算出根拠

店舗面積	4,720 千㎡
店舗業態	ホームセンター
人口	10 万人未満
地区	その他地区
駅からの距離	約 1,400m (JR 氏家駅)

◇計算式

項目	届出値	指針値	算出根拠
必要駐車台数	146 台	146 台	$A \times \alpha \times S \times B \times C \div D \times E$
S : 店舗面積 (千㎡)		4,720	
A : 日來客原単位 (人/千㎡)		958.4	$1,100 - 30S = 958.4$
α : 補正係数		0.7	ホームセンター
B : ピーク率 (%)		14.4	
C : 自動車分担率 (%)		90.0	人口 10 万人未満、その他地区
D : 平均乗車人員 (人/台)		1.5	店舗面積 5,000 ㎡未満
E : 平均駐車時間係数		0.533	$(30 + 5.5S) \div 105 \approx 0.533$

※ 係数や計算式は、大店立地法指針（栃木県基準）によります。

②併設施設を含めた施設全体の必要駐車台数

- ・併設施設はありません。

(2) 駐車場の位置及び構造等

項目	対応策
効率的な駐車場形式の選択及び出入口の数、位置	- 計画店舗の敷地は北側の国道 2 9 3 号と西側の市道 U 1 2 4 9 号線に接道していますが、市道は生活道路のため国道にて誘導します。 - 国道 2 9 3 号はさくら市内の東西方向の幹線道路のため、大店立地法の原則どおり左折入出庫の誘導とします。 - 駐車場内は相互通行ですが、停止線を適切に敷設し車両が円滑に走行できるよう配慮します。 - 店舗の影響で周辺交通に影響が生じた（交通渋滞等が発生した）場合には、関係機関と協議のうえ適切な対策を検討します。
駐車待ちスペースの確保	国道 2 9 3 号より入庫した車両を支障なく引き込めるよう、十分な直線区間を設けます。
駐車場の分散確保	駐車場の分散確保はありません。
駐車場出入口における交通整理	オープン時に各駐車場出入口に交通整理員を配置し、来客車両を誘導します。オープン後は状況を見て判断します。

(3) 駐輪場の確保等

届出駐輪台数 8 台（位置は p16 のとおり）

(4) 自動二輪車の駐車場の確保等

自動二輪車の駐車場は設けず駐車場の利用を案内します。

(5) 荷さばき施設の整備等

項目	対応策
荷さばき車両駐車スペース、荷さばき作業場所の確保	- 十分な広さの荷さばき場を確保します。 - 荷さばき車両の待機がないよう計画的な搬出入を行います。 - 処理能力は〔表 1〕のとおりです。
搬出入車両出入口の位置	搬出入車両は国道部の出入口①から入庫し、出入口②から出庫します。市道部の出入口③は生活道路のため使用しません。
計画的な搬出入	- 計画的な搬入計画により、搬入待ち車両が路上待機しない計画とします。搬入計画は〔表 2〕のとおりです。 - 廃棄物収集作業についても、荷さばき作業と同様に計画的に行います。収集計画は〔表 2〕のとおりです。 - 車両後退時、従業員の誘導により安全を確保します。

〔表 1〕

位置	荷さばき時間帯 (ピーク)	搬出入車両台数／日 (ピーク)	駐車 スペース	荷さばき 処理時間	処理能力
荷さば き施設	6 時～22 時 (8 時～9 時)	10 台／日 (10t×1 台) (4t×1 台)	10t×1 台	10t : 30 分 4t : 20 分	10t : 2 台/h 4t : 3 台/h

〔表 2〕

時間帯	搬入車両			廃棄物 収集車両	備考
	10t	4t	計		
6:00～ 7:00	0	1	1	0	
7:00～ 8:00	0	0	0	0	
8:00～ 9:00	1	0	1	1	
9:00～10:00	0	1	1	0	
10:00～11:00	0	1	1	0	
11:00～12:00	0	0	0	1	
12:00～13:00	0	1	1	0	
13:00～14:00	0	1	1	0	
14:00～15:00	0	1	1	0	
15:00～16:00	0	1	1	0	
16:00～17:00	0	0	0	0	
17:00～18:00	0	0	0	0	
18:00～19:00	0	1	1	0	
19:00～20:00	0	0	0	0	
20:00～21:00	0	1	1	0	
21:00～22:00	0	0	0	0	
計	1	9	10	2	

(6) 経路の設定等

事項		対応策
来退店経路の設定、 交通整理員の配置		・ (2)のとおり、左折入出庫の誘導とします。 ・ 誘導経路をオープン時の新聞折込みチラシにて案内します。 ・ オープン時は駐車場出入口及び駐車場内に交通整理員を配置し、来退店車両を誘導します。 ・ オープン後の誘導員の配置は状況を見て判断します。
生活道路等への 配慮		・ 西側の市道U 1 2 4 9号線は生活道路のため、車両の誘導経路としません。
入出庫対策		・ 出入口①及び②において左折入庫となるよう、看板の設置により周知します。 ・ 出入口①及び②において左折出庫となるよう「止まれ」及び一時停止の路面標示を敷設します。
その他	搬出入車両の 経路設定等	・ 西側の市道U 1 2 4 9号線は生活道路のため、経路に設定しません。 ・ 搬出入車両について、左折入出庫を厳守します。
	バス、タクシー 駐車場の確保	・ 現時点で設置予定はありませんが、さくら市より要望を受けた場合は可能な範囲で検討します。
	公共交通機関 の利用促進	・ 現時点でその予定はありませんが、さくら市より要望を受けた場合は可能な範囲で検討します。
	交通事故防止 対策	・ 駐車場出入口付近の緑地は低木とし、視距を確保します。 ・ オープン時に交通整理員を配置し、交通事故防止に努めます。オープン後の誘導員の配置は状況を見て判断します。

(7) 主要交差点の交差点需要率

①予測結果

交差点番号・交差点名	休平日 の別	交差点需要率		
		開発前(a)	開発後(b)	差引(b-a)
No. 1 : 櫻野南交差点	休日	0.463	0.474	0.011
	平日	0.390	0.400	0.010
No. 2 : 桜野交差点	休日	0.552	0.620	0.068
	平日	0.446	0.485	0.039

②評価

いずれの信号交差点においても、開発後の交差点需要率が通常渋滞が発生しないとされる 0.9 を下回っており、本開発による周辺環境への影響は軽微と考えます。

2 歩行者の通行の利便の確保等

事項	対応策
店舗出入口、敷地内 通路の位置	・ 市道U 1 2 4 9 号線から建物まで、歩行者用通路を設けます。 ・ 駐車場内の横断歩道について、車路側に「とまれ」の路面標示を敷設します。
荷さばき施設の位置	・ 荷さばき施設を建物正面の西側に設置します。 ・ 車両後退時、従業員の誘導により安全を確保します。
夜間歩行者への配慮	・ 駐車場に照明を設置し、歩行者の安全を確保します。 ・ 駐車場利用可能時間帯以外は消灯します。

3 騒音の発生に係る事項

(1) 騒音問題に対応するための対応策

事項	対応策
一般的対策	
騒音源の配置	・ 西側住居への影響が小さくなるよう、空調室外機置場を建物北側に設けます。 ・ 排気口を可能な限り南側に設けます。
遮音壁の設置	・ 遮音壁は設けませんが、西側住居からみて室外機置場が建物の裏側になり遮音効果が見込まれます。
低騒音機器の選択	・ 可能な限り低騒音型の設備機器を選択しています。
緩衝帯の設置	・ 駐車場の国道側と市道側の敷地境界に緑地を設けます。
営業活動に伴う騒音対策	
荷さばき作業	・ 夜間時間帯の荷さばき作業はありません。 ・ 荷さばき作業中のアイドリングストップを厳守します。 ・ 荷さばき関係者に丁寧な作業を行うよう周知します。
営業宣伝活動	・ BGMは店舗建物内とします。
付帯設備等	
冷却塔、室外機等	・ 西側住居への影響が小さくなるよう、空調室外機置場を建物北側に設けます。
給排気口等	・ 排気口を可能な限り南側に設けます。
駐車場	
配置・構造	・ 段差の無い構造とします。
運営	・ 駐車場利用可能時間帯は午後 9 時 30 分迄で、夜間の使用はありません。
廃棄物等収集作業	・ 夜間の廃棄物収集作業はありません。 ・ 騒音発生低減に努めるよう、収集業者に周知します。 ・ 収集計画は p4〔表 2〕のとおりです。
営業時間外の敷地内侵入者防止対策	・ 駐車場利用可能時間帯以外は駐車場出入口等をチェーンにて閉鎖し、第三者の侵入を防止します。 ・ 各出入口に設置するチェーンの位置は全体配置図（p16）のとおりです。

(2) 騒音の予測・評価（併設施設を含む）

① 時間区分の指定状況

昼 間	夜 間
6 : 00～22 : 00	22 : 00～6 : 00

② 騒音の総合的予測結果

種別 時間区分	地域 類型	環境 基準 (L_{Aeq})	予測地点のデータ		
			予測地点	等価騒音 レベル(L_{Aeq})	主 音 源
昼間	C 類型	60dB	A	40.6dB	来客車走行音 38.0dB
			B	43.4dB	来客車走行音 40.4dB
			C	61.4dB	空調室外機 54.7dB
			D	48.9dB	廃棄物収集音 43.5dB
			E	47.3dB	来客車走行音 43.1dB
夜間	C 類型	50dB	A	10.3dB	有圧換気扇 5.9dB
			B	13.8dB	有圧換気扇 9.4dB
			C	23.1dB	有圧換気扇 19.7dB
			D	21.3dB	有圧換気扇 17.5dB
			E	17.9dB	有圧換気扇 13.8dB

③ 夜間に発生する騒音ごとの予測結果

種別 時間区分	区域区分	騒音規 制法規 制基準 (L_A)	予測地点のデータ			
			予測 地点	騒音レベル 最大値(L_{Amax})	音 源	継続時間
夜間	その他の地域 (※) (工業専用 地域では ない)	50dB	a	43.9dB	有圧換気扇	24 時間
			b	32.1dB	キュービクル	24 時間
			c	34.0dB	キュービクル	24 時間

(※) 栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく

④ 評価

【騒音の総合的予測結果】

②のとおりC地点の昼間以外は全ての予測地点で昼間の環境基準を満足しました。ただ、C地点は隣地の水田との敷地境界であり、敷地境界から 1.0m 後退させた地点で再予測すると環境基準 60dB を下回る予測結果となりましたので、周辺環境に与える騒音の影響は小さいと考えます。

なお、周辺住民等より騒音について苦情があった場合は、誠意をもって対応します。

【夜間に発生する騒音ごとの予測結果】

③のとおり全ての予測地点で夜間の規制基準を満足しましたので、周辺環境に与える騒音の影響は小さいと考えます。

なお、周辺住民等より騒音について苦情があった場合は、誠意をもって対応します。

4 廃棄物に係る事項等

(1) 廃棄物等の保管について

① 保管のための施設容量の確保

届出施設容量 20 m³

指針による必要容量 15 m³

◇指針による算出根拠 [S：店舗面積 4.720 千m²]

種別	店舗面積 (千㎡)		排出 原単位 (t/千㎡)	排出 予測量 (t)	平均保 管日数 (日)	見かけ 比重 (t/㎡)	保管 容量 (㎡)
				A			B
紙製廃棄物等	≦6.0	4.720	0.208	0.9818	1	0.10	9.818
	6.0<		0.011				
金属製 廃棄物等	≦6.0	4.720	0.007	0.0330	1	0.15	0.220
	6.0<		0.003				
ガラス製 廃棄物等	≦6.0	4.720	0.006	0.0283	1	0.30	0.094
	6.0<		0.002				
プラスチック製 廃棄物等	≦6.0	4.720	0.020	0.0944	1	0.04	2.360
	6.0<		0.003				
生ごみ等	≦6.0	4.720	0.169	0.7977	1	0.55	1.450
	6.0<		0.020				
その他の可燃性 廃棄物等	≦6.0	4.720	0.054	0.2549	1	0.38	0.671
	6.0<		0.054				
						合計≒	14.613 ≒15

届出の廃棄物等の保管施設容量は20 m³であり、指針値を満足しています。

廃棄物等の保管施設内に間仕切り等は設けませんが、廃棄物は種別ごとに分別保管します。

(※p21 のとおり)

② 廃棄物等の保管施設の位置及び構造等

事項	対応策
位置、構造	・ 廃棄物等保管施設を店舗建物内（倉庫内）に設けます。 ・ 盗難等の防止のため、倉庫のシャッターで施錠をします。
生ごみ対策	・ ホームセンターのため、事務室等から若干の厨芥が発生する以外に生ごみは発生しません。

(2) 廃棄物等の処理について

事項	対応策
敷地外処理	・ 廃棄物等保管施設の容量を超えないよう、専門業者に委託し適正処理します。 ・ 夜間の廃棄物回収作業はありません。
運搬予定業者	・ 収集運搬業者は許可を受けた専門業者とし、適正に処理します。
敷地内処理	・ 敷地内処理はありません。
関係者への指示	・ 関係者に分別保管を周知します。 ・ 廃棄物等保管施設を定期的に巡回し、整理整頓を心がけます。 ・ 収集運搬業者に適正処理を周知します。

(3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

事項	対応策
廃棄物の減量化、リサイクル活動	・ 廃棄物について、分別収集を徹底します。 ・ 商品納入時に、可能な限り再利用が可能なコンテナ等を使用しダンボール使用量の削減に努めます。 ・ 商品の梱包について、可能な限り簡素化します。

(4) 総菜加工場所等の対策

事項	対応策
換気扇、排気口等の悪臭対策	・ ホームセンターのため、食品加工場等の臭いの発生する施設はありません。
食品加工場、関連施設の清掃等	・ ホームセンターのため、食品加工場等の施設はありません。

(5) 併設施設における廃棄物等に係る事項

事項	対応策
廃棄物等の保管場所の位置及び構造	・ 併設施設はありません。
廃棄物等の処理について	・ 併設施設はありません。
その他	

5 街並みづくり等への配慮

事項	対応策
災害時の協力	・ さくら市等から要請を受けた場合には、駐車場を一時避難場所に提供する等、可能な範囲で協力します。
夜間の防犯、青少年の非行防止対策	1. 駐車場における対策 ・ 駐車場利用可能時間帯以外は駐車場出入口をチェーンにて閉鎖し、第三者の侵入を防止します。 2. 店舗内部における対策 ・ 店舗建物内に防犯カメラを設置し防犯に努めます。 ・ 営業時間外は緊急時に迅速な対応ができるよう機械警備による防犯措置をとります。 3. 防犯体制全般 ・ 日頃から店舗建物内及び駐車場を定期的に巡回します。 4. 青少年の健全育成 ・ 栃木県青少年健全育成条例による深夜時間帯（23 時以降）の営業はありません。深夜の駐車場利用の無いよう、上記 1. の対応策を遵守します。
街並みづくり等への配慮	
景観条例等	・ 建築基準法、栃木県景観条例、栃木県屋外広告物条例及びさくら市景観条例に準拠した計画とします。
建物の色	・ 景観を損なわないよう、周囲と調和のとれる色彩とします。
建物の高さ	・ 規定の範囲内とします。
看板	・ 栃木県屋外広告物条例に準拠した計画とします。
その他	
敷地内の緑化計画	・ 駐車場の国道側及び市道側に緑地を設け、低木を植えます。
照明に関する配慮	
方向	・ 周辺の住居に射し込まない方向とします。
強さ	・ 安全確保に必要な程度の明るさとします。
時間	・ 日没から駐車場利用可能時間までとします。

6 地域貢献への対応

事項	対応策
地域経済団体等への活動への積極的な協力	パート、アルバイトについて、地元採用を行います。
地域の防災・防犯への対応	- 地域の活動や行事等について、可能な範囲で参加します。 - 災害時の避難場所や物資の提供等の防災協定についてさくら市より要請がある場合、可能な範囲内で協力します。
退店時における早期の情報提供	事前に後継テナントを探し、店舗に空きができないよう努めます。
その他	おもいやり駐車スペース（車椅子標示）及び優先駐車場（高齢者標示）を4台ずつ設置します。

7 その他特記事項

施設の配置や運営方法について周辺住民等から苦情や問い合わせ等があった場合は、誠意を持って対応します。

公的行事や地域の催し物等が実施される際には、可能な範囲で場所の提供等の協力をします。

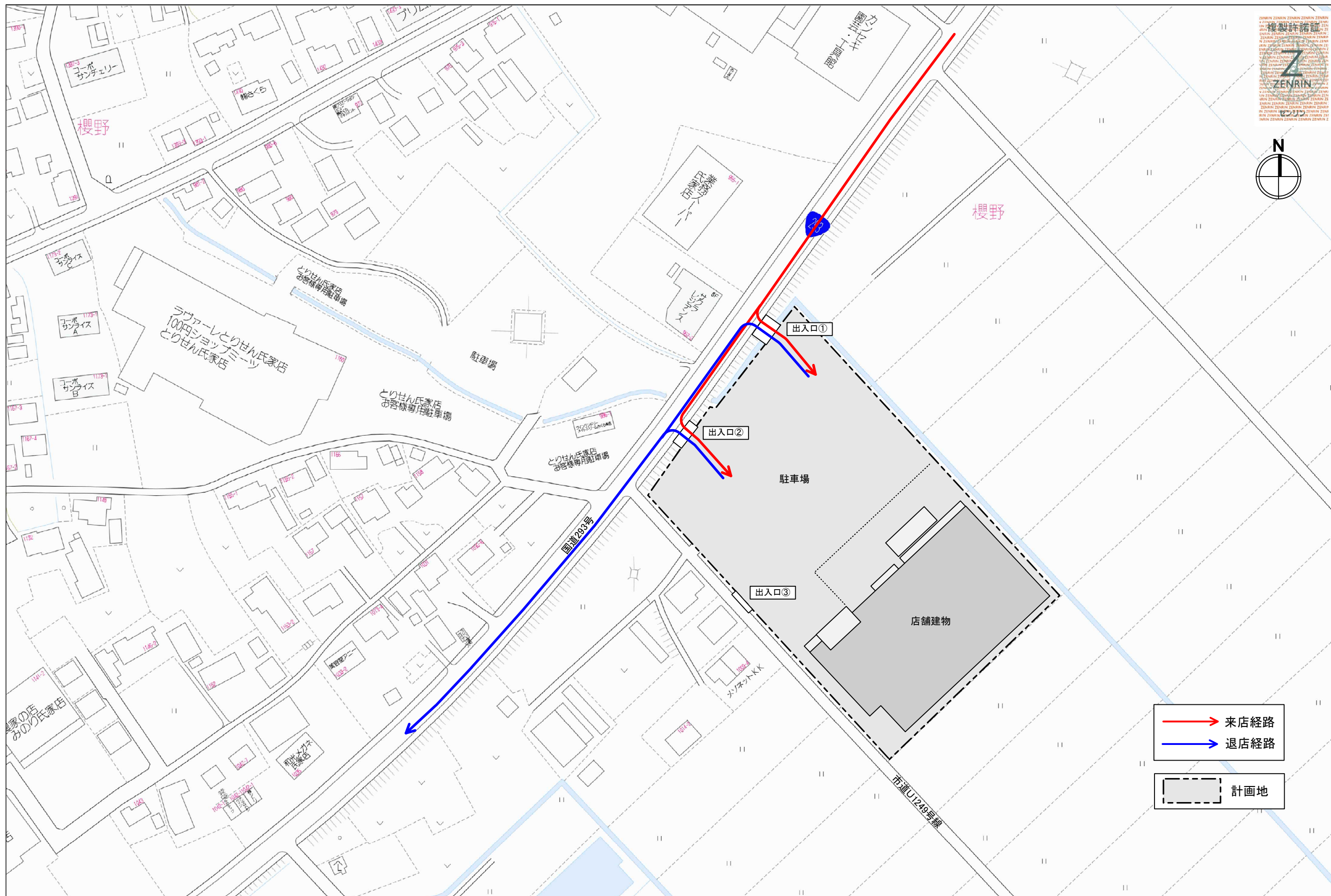




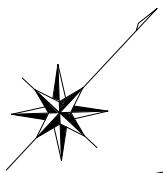
凡 例			
———	都 市 計 画 区 域		
———	用 途 地 域 界		
3・3・5 (25.0) (整備済) (未整備)	都市計画道路及び路線番号、幅員		
■	都 市 計 画 公 園・都 市 公 園		
■	都 市 計 画 緑 地		
■	都 市 計 画 河 川		
---	土 地 区 画 整 理 事 業 区 域		
■	地 区 計 画 区 域		
---	都市計画公共下水道計画区域		
■	都 市 計 画 駐 車 場		
■	都市計画ごみ焼却場・汚物処理場		
■	建 築 協 定 区 域		
用 途 地 域 区 分		建ぺい率	容積率
■	第一種低層住居専用地域	50%	80%
■	第一種中高層住居専用地域	60	200
■	第一種住居地域	60	200
■	第二種住居地域	60	200
■	近 隣 商 業 地 域	80	200
■	準 工 業 地 域	60	200
■	工 業 地 域	60	200
■	工 業 専 用 地 域	60	200
■	無 指 定 地 域	60	200

【用途地域】
○計画地及び周囲は「無指定地域」
※さくら市ホームページより入手

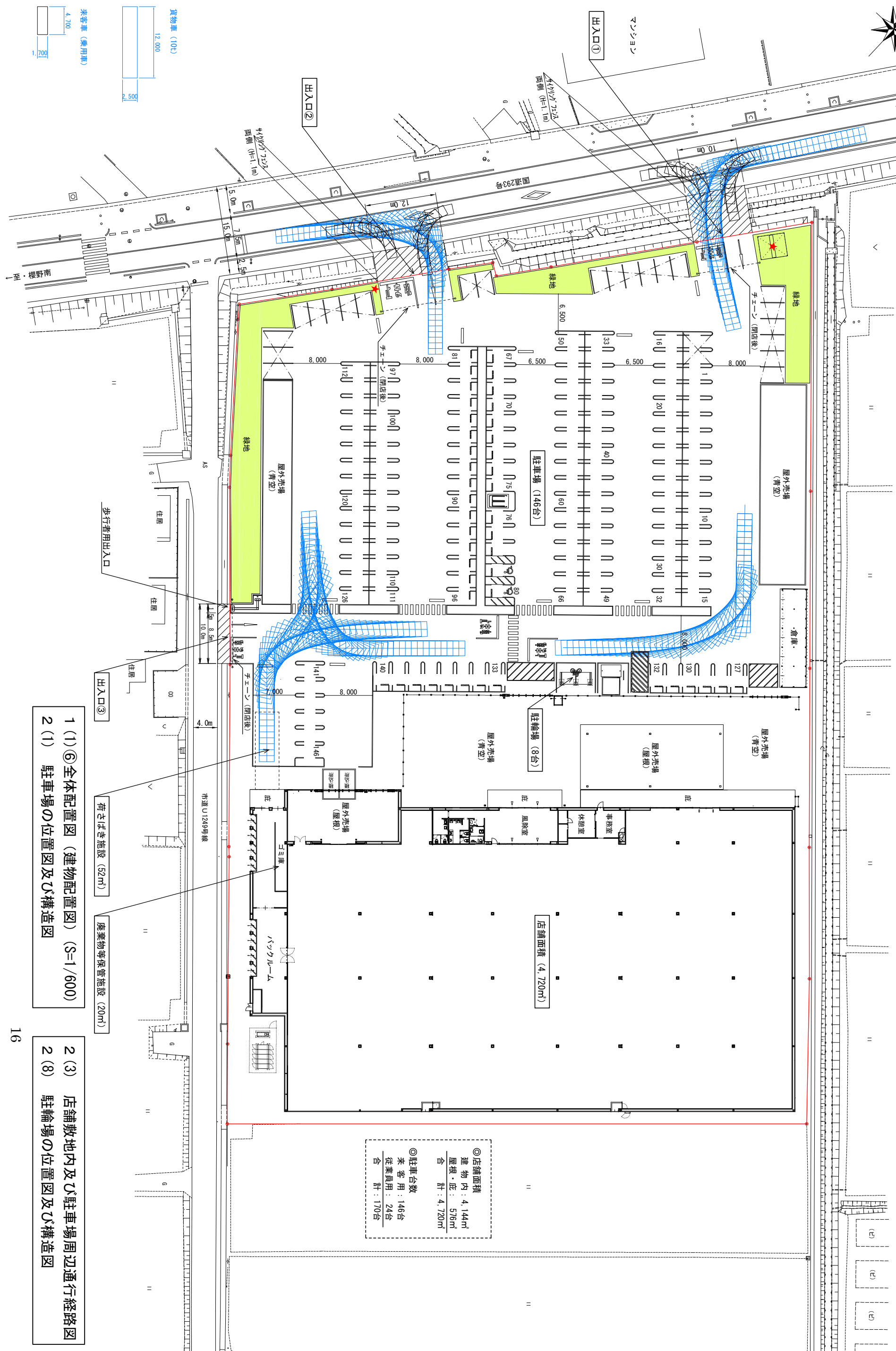
1(1)④都市計画図の写し(S=1/5,000)



1 (1) ⑤ 周辺見取図 (S=1/1, 500)



★：「右折入場ご遠慮ください（道路側）」「左折出庫（店舗側）」の看板設置



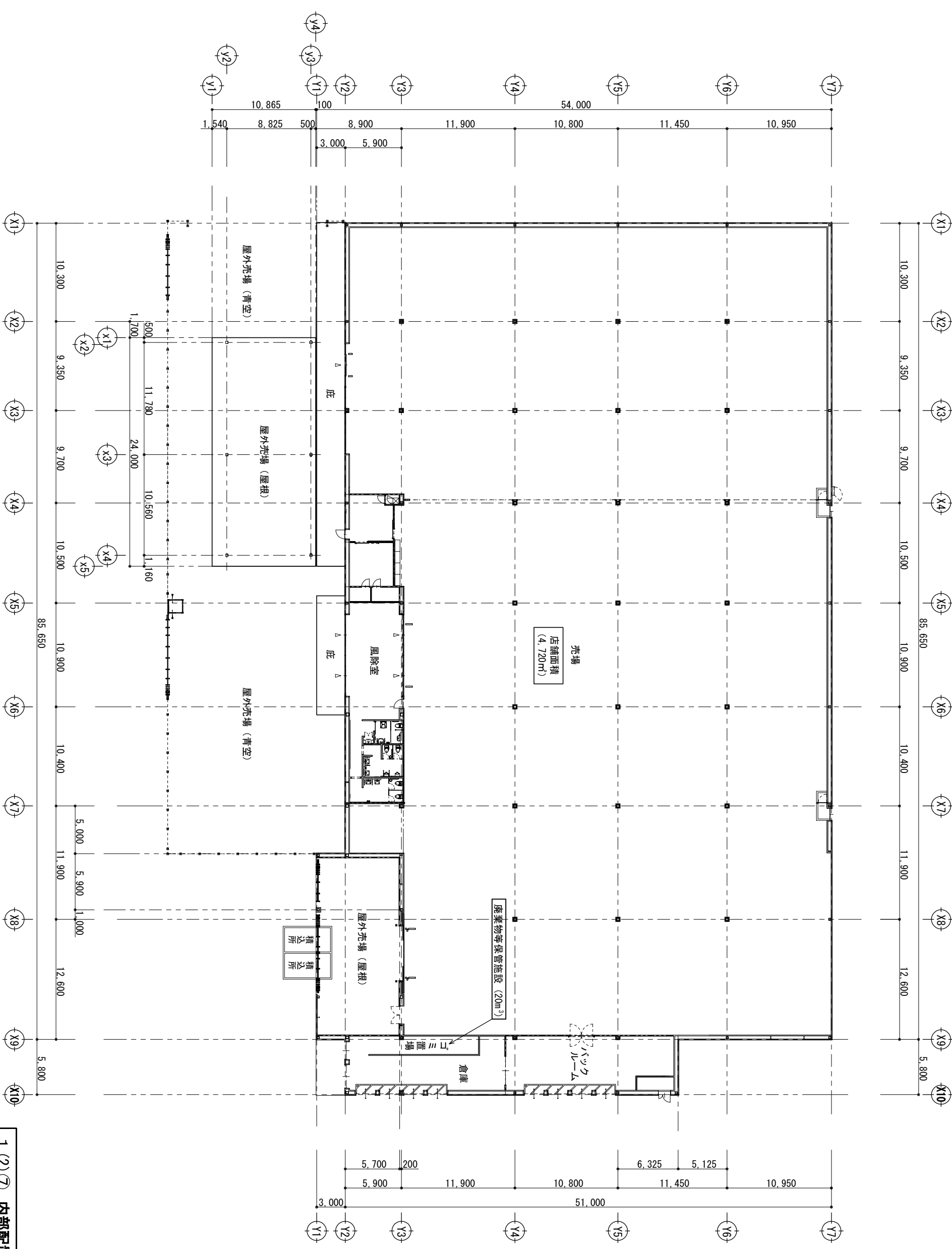
◎店舖面積	
建物內：4,144㎡	
屋根・庇：576㎡	
合 計：4,720㎡	

◎駐車台數	
來客用：146台	
従業員用：24台	
合 計：170台	

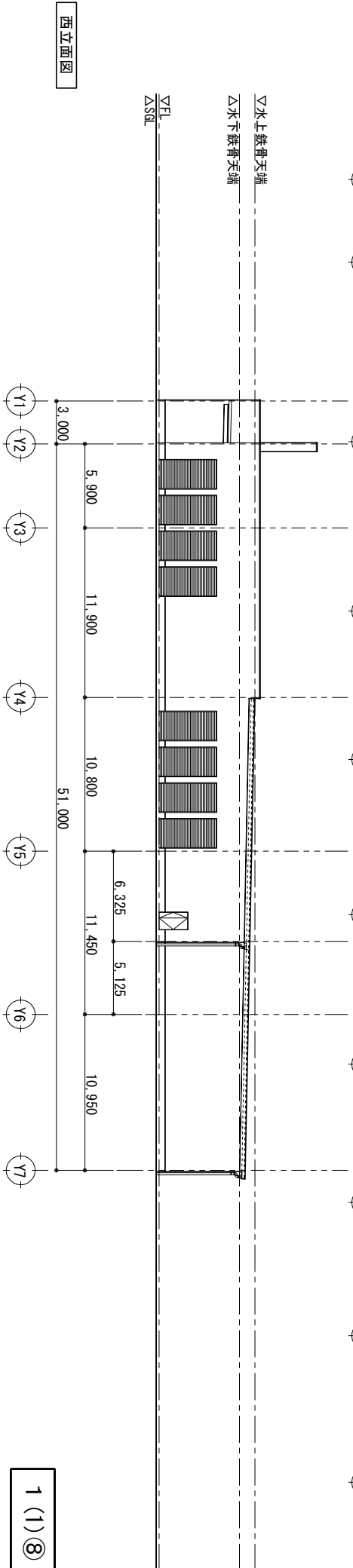
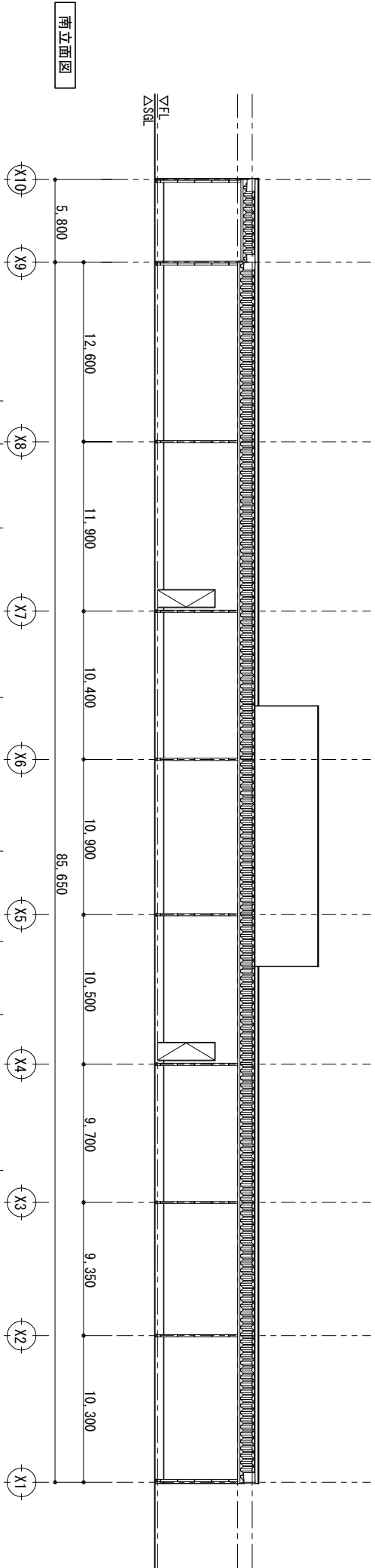
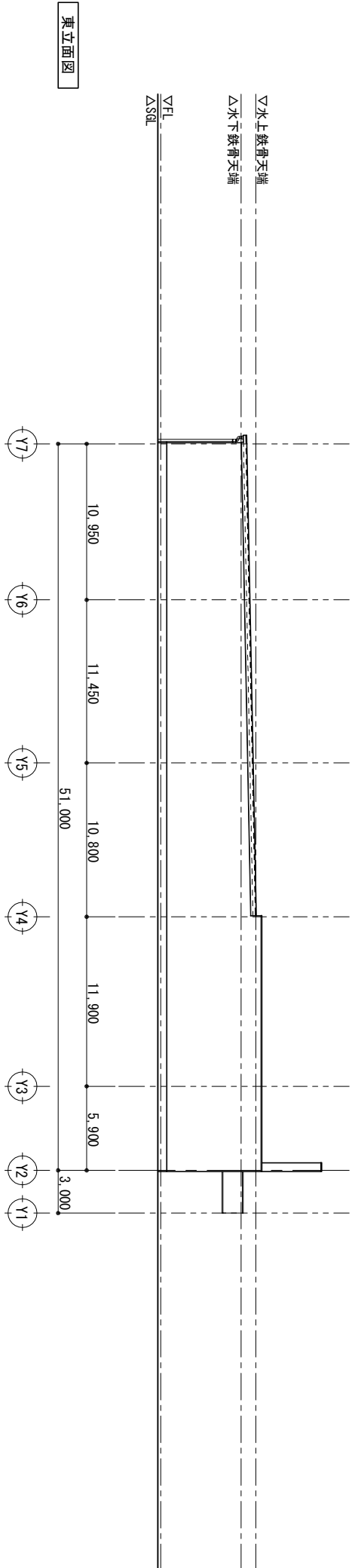
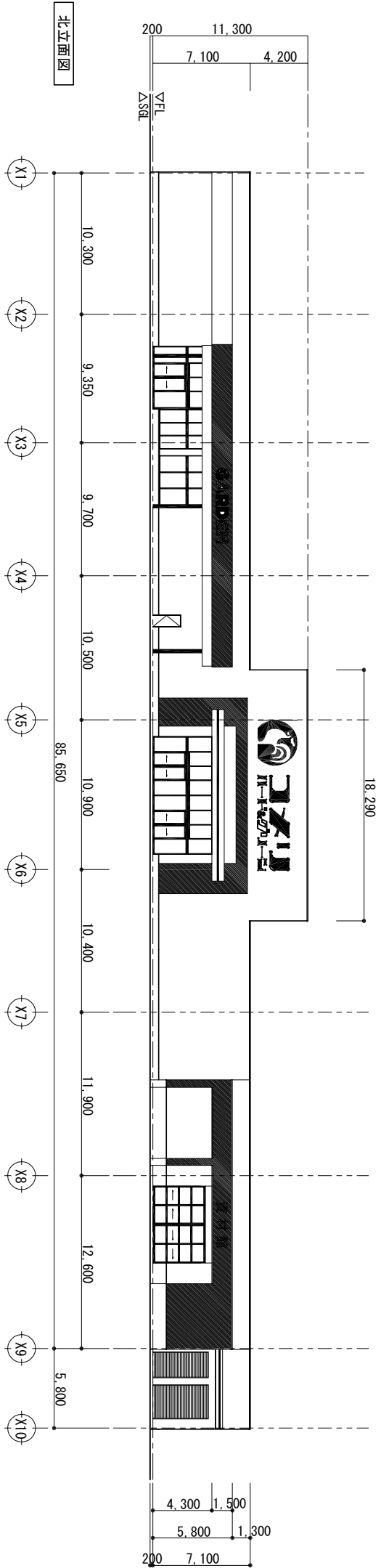
1 (1) ⑥ 全体配置図 (建物配置図) (S=1/600)

2 (3) 店舗敷地内及び駐車場周辺通行経路図

2 (8) 駐輪場の位置図及び構造図



1 (2) ⑦ 内部配置図 (1階平面図) (S=1/400)



1 (1) ⑧ 立面图 (S=1/400)

1(1)⑧ 面 積 表

(単位：m²)

項目		建物 1 階	外売場・底下	合計	備考
店 舗 面 積	売場面積	4,459.54	260.76	4,720.30	
	共用部分	0	0	0	
	小計	4,459.54	260.76	4,720.30	
	a：延床面積不算入面積	145.50	0	145.50	
	A：店舗面積の合計	4,459.54	260.76	4,720.30	
B：事業用合計		0	0	0	
C：施設		315.17	0	315.17	
延床面積 (A－a+B+C)		4,629.21	260.76	4,889.97	